

報告1 町制施行120周年記念事業について

平成21年度
町が誕生して

120周年

記念事業が終了しました



昨年、町制施行120周年の節目の年を迎えたことから、町民の皆様が主体となった実行委員会を組織し、7月5日に挙行了した記念式典をスタートに記念事業を実施して参りました。

記念事業の中には、新型インフルエンザの影響により中止せざるを得なかった事業がありましたが、12月5日に実施した「桜の記念植樹」をもって、各記念事業を終了することができました。



町制施行120周年記念式典(7月)

— ご協力ありがとうございました —

また、町民の皆様方には、記念事業に加えて、それぞれの自主事業の実施に当たって、「ふるさと酒々井」に誇りをもって積極的に「町制施行120周年」の冠を付けて節目の年を盛り上げていただくなど各方面からご協力をいただきました。

私は、記念事業等を通じて培った町民の皆様と行政との「協働、町民参加」の成果を踏まえ、改めて町の未来に思いをはせ、町民一人ひとりがかけがえのない人生を送ることができる地域社会づくりを進めていきたいと考えています。



ラジオ体操・みんなの体操会(8月)



桜の記念植樹(12月)

報告2 墨工業団地への企業進出について

ICアクセスと良質な水が魅力に!

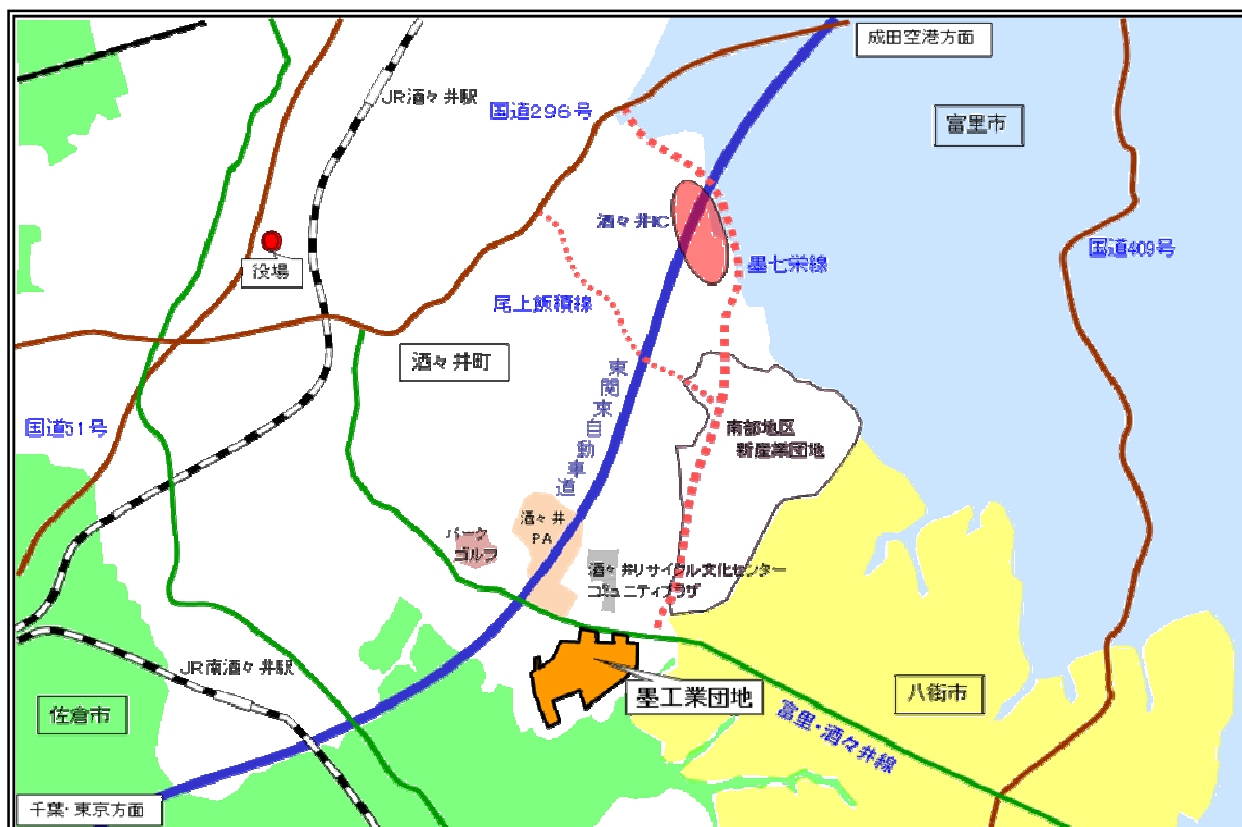


墨工業団地に 製氷業 企業が進出

— 来年中に操業を開始予定 —

墨工業団地内の株式会社すかいらく工場敷地内、未建設用地、約1.3ヘクタールを船橋市に本社のある株式会社エフケイが譲り受けました。

この株式会社エフケイは、製氷業を主事業とする会社で、現在、核となる工場は京都府にあります。需要の増加に伴い新たな工場用地を探求しておりましたところ、酒々井インターチェンジの完成が平成24年度末に見込まれ、インターチェンジ近接となり交通アクセス性が良くなることや製氷に適した水質の良い水道があること等を考慮され、当町の墨工業団地を選択していただいたものであり、年内に工場建設を行い、来年中に操業を開始する予定と聞いています。



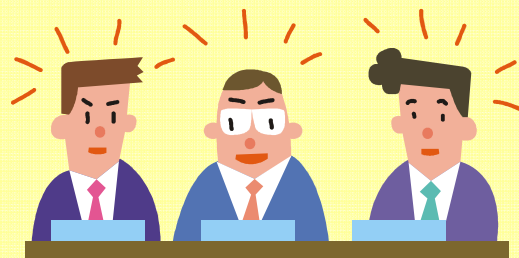
報告3 入札制度の改善について

競争性の拡充を図り 制限付一般競争入札で大幅に予算を節約



公共工事の入札及び契約の適正化については、従来から公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に基づき必要な措置を講じて適正に推進してきたところです。地方自治法令上一般競争入札が原則であることから、平成19年6月より設計金額5億円以上の建設工事が対象であったものを建設工事については3,000万円以上を、また、製造の請負、測量、設計等の業務委託、機械器具、その他の物品の購入等については設計金額500万円以上を対象とし、競争性の拡充を図ってまいりました。

また、平成21年度には総合評価入札方式の導入、電子調達システムの導入、更に一般競争入札については平成22年1月から設計金額3,000万円以上の建設工事を原則として1,000万円以上を対象とし、一般競争入札制度の拡充を図る改正を行ったところです。



－ 2事業で約1億6千万円の節約－

一般競争入札の拡大を図った結果、制限付一般競争入札で実施した酒々井町立酒々井小学校屋内運動場改築工事及びICアクセス道路整備事業の高崎川カルバート工を合わせて、予算額に対し、約1億6千万円の差金が生じることとなり予算を節約することができました。

今後も、予算の執行に工夫を凝らし経費の節減と節減した予算で町民のために真に必要な施策を展開してまいります。